

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2021-70320 (P2021-70320A)
 【公開日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-021
 【出願番号】特願 2020-154804 (P2020-154804)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/01 1 2 5

B 4 1 J 2/01 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 18 日 (2021.5.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体を加熱する第 1 の加熱手段と、

予熱時に前記第 1 の加熱手段が第 1 の出力で前記媒体を加熱し、前記媒体の温度が所定の閾値に達した場合に、前記第 1 の出力以上となる第 2 の出力で前記媒体を加熱するように前記第 1 の加熱手段を制御し、搬送手段による前記媒体の搬送を開始させる制御部と、
 を備えることを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 2】

媒体を加熱する第 1 の加熱手段と、

予熱時に前記第 1 の加熱手段が第 1 の出力で加熱し、前記第 1 の加熱手段の内部の温度が所定の閾値に達した場合に、前記第 1 の出力以上となる第 2 の出力で加熱するように前記第 1 の加熱手段を制御し、搬送手段による前記媒体の搬送を開始させる制御部と、
を備えることを特徴とする液体吐出装置。

【請求項 3】

前記液体吐出装置は、前記予熱時に媒体と接触して加熱する第 2 の加熱手段をさらに有する請求項 1 または 2 に記載の液体吐出装置。

【請求項 4】

前記第 1 の加熱手段は、前記媒体を表面から加熱する請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 5】

前記第 2 の加熱手段は、前記媒体を裏面から加熱する請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 6】

前記第 1 の加熱手段は、遠赤外線で加熱する請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 7】

前記液体吐出装置は、前記媒体表面の温度を検知する第 1 の温度センサと、前記 第 1 の加熱手段 の内部の温度を検知する第 2 の温度センサとをさらに有し、

前記制御部は、前記第 2 の温度センサが予熱時の制御温度である予熱制御温度を検知す

るまで前記第 1 の出力を継続させ、前記第 1 の温度センサが前記所定の閾値となる温度を検知した場合に、前記第 1 の加熱手段の出力を前記第 1 の出力から前記第 2 の出力とする、

ことを特徴とする請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 8】

前記所定の閾値は、前記予熱制御温度の概ね 50 ~ 100 % の範囲に設定することを特徴とする請求項 7 に記載の液体吐出装置。

【請求項 9】

前記制御部は、前記媒体の種類に応じて、前記第 1 の出力による加熱と前記第 2 の出力による加熱を行う、

ことを特徴とする請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 10】

前記第 1 の加熱手段は、当該第 1 の加熱手段の加熱を抑制するファンを備え、

前記制御部は、前記第 1 の加熱手段の温度が前記所定の閾値となるまで前記ファンを停止させ、前記第 1 の加熱手段の温度が所定の閾値に達した後に前記ファンを動作させる、ことを特徴とする請求項 1 ないし 9 のいずれかに記載の液体吐出装置。

【請求項 11】

前記制御部は、操作部がユーザから予熱動作に関する操作を受け付けた場合に、当該操作にしたがって前記予熱の動作を実行するように前記第 1 の加熱手段を制御する、

ことを特徴とする請求項 1 ないし 10 のいずれかに記載の液体吐出装置。